

科目名 Course Name	保育原理 Principles of Nursery Education	ナンバリング No.	K1-001		
年次	1年	期別	前期	単位数	2
担当者氏名	栗原 多恵、市村 弘貴				
連絡方法	講義棟3階研究室か、メール、C-Learning に対応する。				
必修/選択	選択(保育士養成課程・幼稚園教諭二種教職課程必修)				
関連 DP	DP2,DP3				
授業の概要と到達目標	保育の意義と理念、保育の思想と歴史、保育施設の制度と機能、保育の内容と方法を基に、保育者にとって必要な保育に対する基本的な考え方・見方を学習し、多様な保育ニーズに応えることのできる保育を探る。				
授業の方法	講義を中心とする。テキスト、配布資料を各自が確認しながら授業を進める。実際の保育の写真や映像から、原理を説明する。				
学習成果	L01				
	L02	保育者としての心構えを確立し、保育倫理を基に保育に携わることができる。保育の歴史的変遷を軸に、現代が抱える保育事情に向き合う保育と保護者支援ができる。			
	L03				
	L04				
課題に対するフィードバック	毎時間取り組む課題の確認と感想を提出し、習熟度を見定めて助言を行う。				
教科書/参考図書	「新・基本保育シリーズ①保育原理」(天野珠路他:中央法規) / 「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」				
履修上の留意点やルール等	保育への関心を示し、保育に関する最新の情報には敏感であることが望ましい。各講を講義の前に読んでおく。事前事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。				
担当教員の実務経験	栗原多恵:実務経験(職種:幼稚園教諭 職歴:通算9年) 実践現場での多様な経験を、体験談を含めながら解説したい 市村弘貴:実務経験(職種:幼稚園教諭・児童館館長・幼稚園園長 職歴:16年) 保育現場での多様な経験を反映しながら解説する。				

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	疑問を持ち、講義を受ける。		15		
レポート/作品	各講の中での自己の学びを適切に押さえたレポートを提出する。		25		
発表					
小テスト					
試験	乳幼児保育の基本を理解し、述べることができる。今の「保育所保育指針」の構造と内容を述べるができる。		60		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の内容・進め方・評価の方法)、保育の理念と概念（栗原）
	事前・事後学習	事前事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。
2	授業内容	保育の社会的役割と責任（栗原）
	事前・事後学習	教科書第2講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
3	授業内容	保育の理解・保育計画考案（栗原）
	事前・事後学習	実践に向けて計画を立て、教材研究を行う。
4	授業内容	子ども・子育て支援新制度と保育にかかわる関係法令（市村）
	事前・事後学習	教科書第3講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
5	授業内容	保育の実施体系（市村）
	事前・事後学習	教科書第4講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
6	授業内容	保育計画実践に向けて教材研究（栗原）
	事前・事後学習	教材研究の継続・使用教材の準備
7	授業内容	保育実践からの学び①（栗原）
	事前・事後学習	保育計画の振り返りと改善点の明確化
8	授業内容	保育実践からの学び②（栗原）
	事前・事後学習	保育計画の振り返りと改善点の明確化
9	授業内容	保育計画実践からの再計画考案（栗原）
	事前・事後学習	改善点の確認・教科書第9.10講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
10	授業内容	教育課程・保育計画の理解（栗原）
	事前・事後学習	教科書第11・12講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
11	授業内容	保育所保育指針に基づく保育、保育所保育指針をまとめる（市村）
	事前・事後学習	教科書第5・6講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
12	授業内容	保育の目標と方法（市村）
	事前・事後学習	教科書第7・8講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
13	授業内容	日本と諸外国の保育の思想と歴史（市村）
	事前・事後学習	教科書第13講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
14	授業内容	日本と諸外国の保育の思想と歴史（市村）
	事前・事後学習	教科書第14講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。
15	授業内容	日本と諸外国の保育の現状と課題（市村）
	事前・事後学習	教科書第15講を読む。疑問点を明確化し、資料の再確認をする。